

＊ ＊平成 25 年度地域型住宅ブランド化事業 ちょうの家 ＊ ＊ ＊ ＊ 普及イベント 盛況に開催 ＊ ＊

国土交通省地域型住宅ブランド化事業の「ちょうの家」は平成 24 年度に続き平成 25 年度も国土交通省の補助事業として採択頂き、現在 8 棟の住宅を各地で建築中です。

* ちょうの家の各社の建築写真は、HP <http://www.shinminka21.com> でご覧いただけます。

この建築にあわせて、「ちょうの家」の一層の促進を図る目的で 10 月の住月間の住宅に下記のようなイベントを開催、出展いたしました。

10 月 6 日 六甲山大学 文化祭に参加

10 月 20 日 木材フェア に出展

10 月 27 日 第 2 回衣食住暮らしづくり丸ごと体験 を主催

どちらの会場も大勢の市民がご参加賜り、ちょうの家とともに兵庫県産木材、淡路瓦などの建材の情報提供を行ないました。併せて、小さな頃から木造住宅に親しんでいただく仕掛けとして、子供サイズの住宅棟上げ体験、木工体験などは大変好評、又今年はお自身が作った木製品に塗料を塗る体験もしていただきました。木材フェア会場は昼過ぎまで雨が降る天候の中今年度はじめて木工体験を実施しました。準備した材料のキットは全部売り来れ、板を出来上がりのキットに切る上級コースに 3 人のパパが挑戦するというハプニングもありました。

姫路会場は、今年度初めて兵庫県丹波の年輪の里様のご協力により「木の名前ビンゴゲーム」を姫路で開催しました。ビンゴゲームは、親子別々に参加され、1 回約 40 名、2 回で 100 名近い方々にご参加されました。丹波年輪の里の敷地内にある木を中心にビンゴゲームが進み、途中、兵庫県の木は？ 姫路市の木は？ と身近な質問も入り、盛り上がりました。

11 月 16 日には、丹波年輪の里様主催の「木育講演会」を後援で応援です。

六甲山大学 会場



ひょうご木材フェア会場



姫路 衣食住暮らしづくり丸ごと体験会



* 大海一雄 理事長 著書 *

大海一雄理事長が長年住宅の研究と実務を通じて発表された多くの著書から下記の4冊をご紹介します

・「家に床下は必要か—平地式住宅のすすめ」

わが国の住宅の床が地面から上がっているのは日本の住宅の良い伝統と言われますが、本当でしょうか。上がり框は車いすなどの障害になり、耐震性が劣る、コストも上昇等で良いことはほとんどありません。わが国にもつい近年まで連綿として平地式住宅の歴史がありますが、住宅の歴史教育で教えられなかったので床が上がっているのが常識になったからと考えます。本書はわが国の平地式の歴史をひもとき世界標準の平地式住宅への啓発書です。



・「西神ニュータウン物語」

ニュータウンは新しい町なので歴史がない、故郷にならないなどという誤解や偏見がありますが、西神ニュータウンは戦前からの連綿とした計画の歴史があります。またニュータウンは画一的で面白くないとの誤解がありますがトランプ型の交番やナスカ絵など他の町にない面白いものを紹介しています。

・「須磨ニュータウン物語」

須磨ニュータウンも連綿とした歴史があることが古文書で明らかになってきました。またニュータウンを縦断するように摂津と播磨の国境が現在もその痕跡が残っています。このニュータウンは歩道と車道を完全分離した素晴らしいインフラが整備されています。

人口構成から現在の問題も浮き彫りにしています。

・「神戸の住宅地物語」

前2著の姉妹編として神戸の戦前からの住宅地の歴史を調べいっそう深く広く神戸の住宅地がわかるようにしました。なくなった住宅地や忘れられた住宅地も掘り起しました。また主要な20団地の人口動向も分析しましたのでこれからの住宅地対策の基礎資料となるものと思っています。



トピックス情報 ヒラタキクイムシ

近年住宅内での「ヒラタキクイムシ」の被害が増えているとお聞きします。これは03年7月施行のシックハウス対策に係る法律や温暖化の影響からヒラタキクイムシなどの害虫が繁殖していることが原因です。

ヒラタキクイムシは、ラワン材やナラ材などの木材に卵を産み付け、半年から1年を経て1mmほどの孔を開けて脱出します。虫孔の下に細かな木粉が降り積もることで発となります。新築引き渡し直後から数年内に木粉が降り積もった被害を目にすると建材から虫が出てきたと思われることが一般的ですが、ヒラタキクイムシは建材だけでなく木製家具や置物にも発生します。また、種によっては日本国内に広く分布していることから、どこが発生源なのかを特定することはとても難しいのです。

たとえヒラタキクイムシが発生しても、柱や梁など構造上の耐力には影響しないのですが、小さな孔が無数に開いて木粉で室内が汚れると放置する訳にもいきません。

ヒラタキクイムシは木材に卵を産み、幼虫は木材の中を食べ進みますので殺虫剤を使用しても、木材内部に薬剤が到達しないと虫を退治することは極めて困難です。ヒラタキクイムシの退治はとても特殊な技術を必要としますので退治は害虫の専門家に依頼が一番です。

平成25年12月17日は、ヒラタキクイムシ等の害虫の勉強会を開催いたします。

発行：NPO法人 ひょうご新民法21 URL； <http://www.shinminka21.com>

大阪；TEL：06-6941-8336 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4 MF天満橋ビル5階

西宮；TEL&FAX：0798-22-3011 Mail：QZS05450@nifty.com 〒662-0044 西宮市平松町8-27